

教科	地歴				
科目	歴史総合	単位数	2	単位	履修年次
使用準教科書	わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

(1)知識・技能 世界とそこにおける日本を相互的に捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料からの情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付ける。

(2)思考・判断・表現 近現代の歴史についての諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、諸課題の解決に向けて考察・構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。

(3)主体的に学習に取り組む態度 よりよい社会の実現を視野に世界とそこにおける日本のあり方について歴史的な観点から意欲的に追究しようとする態度を養う。

3 指導の重点

- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解する。
- ・近現代の歴史的事象の意味や意義、特色などを、現在とのつながりなどに着目し、考察する。
- ・近現代の歴史的事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重する姿勢を身につける。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	「歴史の扉」 第1部「近代化と私たち」 ・18世紀の世界とアジア ・産業革命・アヘン戦争と日本 ・日本の開国・日本開国期の国際情勢	教科書 板書 配付資料（プリント等） 作業・まとめプリント 視聴覚教材	資料を活用し、日本と世界の歴史がつながっていることを理解させ考察し、意見交換をする。 世界と日本の近代化に関連づけて多面的・多角的に考察し、課題を	9	取組状況 提出物 小テスト
	・開国後の日本社会・市民革命と国民統合 ・明治維新・富国強兵と文明開化 ・日本の明治初期の外交・大日本帝国憲法制定	同 上	設けて、生徒自身が考察したことを発表させる。また、視聴覚教材を利用して思考を深める。	8	取組状況 提出物 小テスト
	・日本の産業革命と日清戦争・帝国主義 課題学習 「自由・制限」「対立・協調」	教科書 配付資料（プリント等） 作業・まとめプリント	課題学習では、主題を設定し、着目し、アジア諸国と他地域の動向や関連について学習する。	10	取組状況 小テスト (定期考査)
	第2部「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 ・大衆運動の芽ばえ・第一次世界大戦 ・第一次世界大戦と日本・ロシア革命とその影	同 上	冒頭の問いを利用し、テーマへの学習意欲を高めたうえで、二つの大戦が世界に与えた影響や社会の	7	取組状況 提出物 小テスト
	・社会運動の広がり・国際協調 ・世界恐慌・独裁勢力の台頭 ・日本のアジア侵出・第二次世界大戦	教科書 配付資料（プリント等） 作業・まとめプリント	変化を学ぶとともに、日本とアジア大戦後の日本人がどのように生き抜いていったのかを、深く考察し	6	取組状況 小テスト (定期考査)
	・第二次世界大戦と日本・第二次世界大戦の終結 ・戦後国際秩序・冷戦の始まり ・日本の戦後改革と日本国憲法・日本の独立	同 上	生徒自身が感じたことを発表する。 課題学習では、主題を設定し、資料を活用し、考えとともに、現	5	取組状況 提出物 小テスト
後期	課題学習 「統合・分化」「平等・格差」 ・第三世界の登場・冷戦の固定化と「雪どけ」 ・冷戦の展開・55年体制と安保闘争	教科書 板書 作業・まとめプリント 視聴覚教材	代社会の問題点とも関連づけて考察する。 学習意欲を高めたうえで、教科書の記述事項の要点について理解を	7	取組状況 提出物 (定期考査)
	・高度経済成長の光と影 ・ベトナム戦争とアメリカ・経済構造の変化 ・日本の経済大国化・アジアの経済成長	同 上	深めるとともに、現在の日本にどのような課題があるのかを考え これからの私たちが生きていくた	9	取組状況 提出物 小テスト

・社会主義の停滞と新自由主義・冷戦の終結 ・冷戦後の地域紛争・地域統合 ・現代世界の諸課題・日本の諸課題 課題学習 「対立・協調」「開発・保全」	教科書 板書 配付資料（プリント等） 作業・まとめプリント 視聴覚教材	めの指針とそのため解決法について考察を深め、生徒に意見を発表してもらおう。また、ビデオ学習などの視聴覚教材を利用し現代課題と解決法について考える。	9	取組状況 提出物 小テスト (定期考査)
計			70	(50分授業)

5 課題・提出物等

・授業内容を要約したノート提出 ・課題プリントの提出 ・視聴覚教材を利用し考えたことや、話し合ったことをまとめたレポート提出
--

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付け、歴史的事象と現代の諸課題との関わりを理解している。	歴史的事象の背景や原因、結果や影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的な社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 各単元の理解・各課題の現状についての考査での得点率が 70%以上・・・A 40%以上・・・B 40%未満・・・C	【評価】 思考・判断・表現をともなう学習で得られた内容・レポート作成を経た学習に関連する考査の問題に関する得点率が 70%以上・・・A 40%以上・・・B 40%未満・・・C	【評価】 提出物等の内容・課題に取り組む態度が 充分満足できる状況と判断できる・・・A 概ね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

8 担当者からの一言

教科書内容を覚えるだけでなく、「なぜ」そうなるのかを考える授業にしたい。また、課題学習では、内容を重点化してテーマの精選も行います。
--